別紙様式第８（第３条関係）（平12通産令220・令元経産令17・一部改正）

〈ＨＴＭＬ〉
〈ＨＥＡＤ〉〈ＴＩＴＬＥ〉外国為替及び外国貿易法第16条第１項等〈／ＴＩＴＬＥ〉〈／ＨＥＡＤ〉
〈ＢＯＤＹ〉〈ＰＲＥ〉
【書類名】支払等許可申請書
【提出日】
【あて先】経済産業大臣殿
【提出者情報】
　　【氏名又は名称】
　　【住所】
　　【担当者】
　　【電話番号】
【適用条文】外国為替及び外国貿易法第16条第１項から第３項まで又は第16条の２
【様式番号】001
【許可を受ける義務を課した法律の根拠条文】
【支払等の内容】
　　【支払又は支払の受領の別】
　　【支払等の項目】
　　【支払等の金額】
　　【支払等の時期】
　　【支払等の金額の算出方法】
【支払等の相手方】
　　【支払等の相手方の氏名又は名称】
　　【支払等の相手方の住所・居所又は所在地】
【添付情報】
　　【添付資料】
　　　（申請の理由を記載した書類）
〈／ＰＲＥ〉〈／ＢＯＤＹ〉〈／ＨＴＭＬ〉

注　意

１　１行は36字詰めとすること。

２　「【氏名又は名称】」の欄には、法人にあっては、名称を記録し、「【氏名又は名称】」の欄の次に「【代表者】」の欄を設けて、その欄に代表者の氏名を記録すること。

３　文字は、日本産業規格Ｘ0208で定められている図形文字並びにＸ0211で定められている制御文字のうち「復帰」及び「改行」を用いることとし、図は用いてはならない。

ただし、「【」（日本産業規格Ｘ0208区点番号（以下「区点番号」という。）１―58)、「】」（区点番号１―59)、「▲」（区点番号２－５）及び「▼」（区点番号２－７）は用いてはならない（欄名の前後に「【」（区点番号１―58）及び「】」（区点番号１―59）を、又は置き換えた文字の前後に「▲」（区点番号２－５）及び「▼」（区点番号２－７）を用いるときを除く。)。

日本産業規格Ｘ0208で定められている文字以外の文字を用いようとするときは、日本産業規格Ｘ0208で定められている漢字に置き換えて記録し、又はその読みを平仮名で記録し、それらの前に「▲」（区点番号２－５)、後ろに

「▼」（区点番号２－７）を付すこと。

4　「〈」、「〉」又は「〈」及び「〉」によって囲まれた欄名は、日本産業規格X0201で定められている文字を用いること。

5　「【様式番号】」の欄には、日本産業規格X0201で定められている文字を用いること。

6　文字の符号化表現は、日本産業規格X0208附属書１で定められている方式を用いること。

7　「【支払等の相手方の氏名又は名称】」及び「【支払等の相手方の住所・居所又は所在地】」の欄は外国語で記録する場合には、日本産業規格X0201で定められている文字を用いても差し支えない。